

(様式)

パブリックコメント実施結果報告書

平成31年2月13日

担当課	文化政策課
担当者	伊藤
連絡先	7843

パブリックコメントのテーマ： アートピアとっとり行動指針（案）

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
0件 (人)	0件 (人)	17件 (10人)	4件 (1人)	0件 (人)	0件 (人)	0件 (人)	21件 (11人)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	5	<ul style="list-style-type: none">・県展、とりアート、あいサポート・アートとっとり展等、県内各地を巡回して鑑賞できるようにしてほしい。・写真と因州和紙の融合で産業発展につなげられるのではないかと。長期的な視点を持って特性、汎用性を高めることのできる人材の育成に期待する。・アーティスト・イン・レジデンスを指針に盛り込んでほしい。(3件)
既に盛り込み済み	13	<ul style="list-style-type: none">・障がい者アートの取組がなぜ障がい福祉課なのか。県として支援のレベルアップを求める。・文化活動を相談できるプラットフォーム的な場を東・中・西部のせめて3か所には作るべきではないか。・多くの学校に「ととりの芸術宅配便」を鑑賞・体験してもらいたい。・アートスタート運動を充実してほしい。子どものうちから本物の舞台芸術に触れることはとても重要だと思う。・新美術館に、写真と因州和紙に特化した常設展示と交流・体験の空間を創設し、新しい文化構築につなげてはどうか。 等
今後の検討課題		
対応できない		
その他上記に分類 できないもの	3	<ul style="list-style-type: none">・アートの制作は工事受注と同じで時間や費用の積み上げ作業が必要。・アーティスト等の実態を知るためにも意見を聴くべき。・「本県の動向」は(特段の意図がなければ)日付順に並んでいた方がよい。
計	21	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表 (担当課による)	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他
○		○			